

(写真・文 太田祥作)

ツクバネソウ (学名: *Paris tetraphylla*)

【シュロソウ科】



▲ ツクバネソウの黒い実。9月撮影



▲ ツクバネソウの花。6月撮影

ツクバネソウ（衝羽根草）は落葉広葉樹林の地面に見られる多年草です。茎の上部に車輪のように4枚の葉が出ており、その様子を「羽根突き」の羽根に例えたのが和名の由来とされています。

初夏、4枚の葉の中心部に黄緑色の花が咲きます。花弁は無く、緑色の萼片が4枚つきます。秋に熟す果実は径1cmほどの球形の液果で、周りの赤紫色は雄しべの葯（やく）を支える花糸が膨らんだものです。写真を見ていただければ分かるように、この黒い果実と反り返った萼片（がくへん）の方が「羽根突き」の羽根によく似ていて、和名の由来はむしろ果実の方にあるのではないかと思えてきます。

ツクバネソウは只見町に普通に生育しており、登山道沿いでもよく見られます。4枚の葉をつけた特徴的な姿は、一度覚えてしまえば間違えることはありません。ただし、ごくまれに5枚の葉をもつ個体も見られます。これが6～8枚ですと、クルマバツクバネソウという別種で、町内では未記録の植物です。もし見つけたら只見町ブナセンターまでご一報ください。

只見町ブナセンターからのお知らせ

ただみ・ブナと川のミュージアムでは下記企画展を開催中です。町内で確認されている69種のトンボについて、豊富な写真を掲載したパネルや標本資料から学ぶことができます。ぜひお越しください。

企画展「只見のトンボ」

会期：2023年7月29日(土)～11月27日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

また、10月は下記観察会を予定しております。紅葉を背景に渡りゆく野鳥を観察できる機会です。ぜひご参加ください。

秋から初冬の野鳥観察会（2回目）

日時：2023年10月28日(土) 9:00～12:00

集合場所：小林公民館駐車場（小林下前田4）